

令和2年度 第1回 研究評価委員会

開催日時

令和2年9月28日（月）13:00～17:00

中間評価対象課題と評価結果

課題名	進捗状況	得られた成果	目標達成の可能性	課題の取扱い	合計
(1)黒毛和種雌肥育における濃厚飼料中の適正粗タンパク質含量の検討 (R1～3 大家畜研究課)	3.5	4.0	4.3	4.3	16.0

○ その他特記事項等（評価委員コメント）

- ・ 研究期間の延長は認めない。
- ・ 飼料費の低減につながる重要な課題である。

課題名	進捗状況	得られた成果	目標達成の可能性	課題の取扱い	合計
(2)羽毛つき行動特性解明による地鶏の飼育管理技術の向上 (R1～3 中小畜研究課)	3.5	3.0	3.5	4.0	14.0

○ その他特記事項等（評価委員コメント）

- ・ 出荷前の事故を低減させることで利益につなげることは重要。
- ・ 羽毛つき行動が始まる前に出荷できないか。

課題名	進捗状況	得られた成果	目標達成の可能性	課題の取扱い	合計
(3)高品質体外胚生産のためのOPU前処置法の開発 (R1～3 畜改良繁殖研究課)	4.0	4.5	4.3	4.0	16.8

○ その他特記事項等（評価委員コメント）

- ・ 子牛の増産につながる重要な課題。
- ・ OPU 技術の普及と増産された子牛の引き取り先を確保できればよい。

令和3年度事前評価対象課題と評価結果

課題名	必要緊急性	新規独創性	達成の可能性	期待される効果	合計
(4) コーヒー粕給与が乳牛の生産性に及ぼす影響 (R2~5 大家畜研究課)	3.0	4.3	4.0	4.8	16.0

○ その他特記事項等（評価委員コメント）

- ・ コーヒー粕を牛がたべるか。
- ・ 飼料の調製等で飼料コストを低減できることが重要。

課題名	必要緊急性	新規独創性	達成の可能性	期待される効果	合計
(5) 黒毛和種雌牛の事故低減型長期肥育体系の確立 (R3~8 大畜研究課)	4.0	4.0	4.0	4.5	16.5

○ その他特記事項等（評価委員コメント）

- ・ 牛1頭の事故は多大な損失となるため、低減を図ることは重要な課題。
- ・ SARA（亜急性ルーメンアシドーシス）をどのように判断するのか難しい。

課題名	必要緊急性	新規独創性	達成の可能性	期待される効果	合計
(6) アニマルウェルフェアに即した豚の飼養管理技術の検討 (R3~5 中小家畜研究課)	4.0	3.5	4.0	4.5	16.0

○ その他特記事項等（評価委員コメント）

- ・ JGAPの推進のうえで重要な課題。
- ・ 畜産物の輸出やWGAPにおいても重要な課題である。
- ・ 他畜種、特に採卵鶏でも検討してほしい。